

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：柏木君夫、岡元正史

暦は、もう2月。

3日は節分、4日が立春です。「節分」を調べると、「季節の始まりの日（立春、立夏、立秋、立冬）の前日のこと。特に立春の前日」とあります。旧暦（太陰太陽暦）では、春分に最も近い新月を新年の「元日」、その前日が「大晦日」とのこと。2月は暦の上では大寒を過ぎて春ですが、気候は冬の寒さの真っ只中。

さて、札幌。北緯43度、2月の平均気温＝マイナス3.1度。日本で一番、有名な冬の祭りが大通公園の「さっぽろ雪まつり」。併せて、雪まつりの期間中、すすきの大通りを「歩行者天国」（ほぼ10日間、車両通行止）にして、ススキノアイスワールド（すすきの氷の祭典）も開催されます。



ただし、ホテル代も飛行機代も高い。そこで知恵者の旅行術。宿も飛行機も安くなる雪まつりの最終日の朝に、羽田を出発して、昼前に札幌着。雪まつりと氷の祭典を満喫するのが、旅の通です。見所は、夜中23時のすすきの大通り。

最終夜、一斉に大型ブルドーザー、ダンプカーが大集結して、氷の像を破壊して、2時間ほどで通行止めが解除されて、日常の交通に戻りました。翌朝、前日まで雪まつり会場だった大通公園へ。大型クレーン車、ブル、ダンプが、1ヶ月以上かけて丹精込めて造った雪像を容赦なく、ひたすら、壊す、壊す、壊す、壊す。昼前までの3時間、人間の心の底に潜む破壊願望を昂めてくれます。

その後は、鉄路で小樽へ移動して「小樽雪あかりの路」の祭りへ。夕暮れ、市民ボランティアが造ってくれた小さな「かまくら」に数千の蝋燭を灯して、大変、幻想的です。



小樽駅脇の「三角市場」で、生ビールと肴で一杯。

♪冬の小樽は…♪ (石原裕次郎)

活動記録 2019年1月

- 1月11日（金） 定例会 メンバー18名出席
- 1月23日（水） 新年会 メンバー16名と高橋前代表が参加



1月のメニュー

- ふろふき大根のステーキ（胡麻味噌風味）
- 甘酢大根のサーモン挟み（酢の物）
- お雑煮
- 大根と春菊のパリパリサラダ

新年会開催！

1月23日（水）に新年会を三軒茶屋の「ル・マン」で開催。ル・マンでやるのは3回目。勝手知ったるいつもの奥の間貸し切り、メンバー16名に高橋前代表を加えた17名で、いつものとおり大騒ぎ。食べ物が無くなっても、アルコールは尽きることなく・・・いつの間にかマイクの奪い合い。例によって、例の如く、楽しい飲み会でした。



2月の予定

- 2月7日（木） 定例会
- 2月8日（金） 定例会

